



志賀 稔宗 議員

合併で県内一の行政水準達成

問 合併により行政基盤は確実に強化され、行政サービスも確実に向上した。特別職、一般職員削減の効果、行政評価制度、戦略的目標管理制度による意識改革や組織力の向上が図られた。子育て、高齢者福祉、教育環境等で県内トップの評価を受ける極めて高い水準のサービスを提供できた。合併は、間違いなく成功したと認識するが見解を伺う。

答 合併は、行政改革を行いながら市民が安心して生活できる自治体をめざすことである。新市建設計画に基づき合併特例債等を活用しながらまちづくりを進めてきた。合併の成果が十

分發揮されないことや、市債発行残高が増加するなど将来に不安を残す結果を招いていることも事実なので、市民の声にこたえていくことが必要と考える。

問 小高区、鹿島区、原町区が均衡のとれた発展を確保するため、2対2対6の予算配分を新市建設計画に基づき確認している。一方、

合併前のインフラ整備水準の格差を埋めるための財源の傾斜配分も必要と考える。見解を伺う。

答 分権分散型合併を基本理念に地域の主体性を尊重し補完、貢献し合う合併と認識。鹿島・小高から寂れたとの声が多かった。今後も真摯に耳を傾ける。

問 平成22年度当初予算の考え方、骨格予算とした基本的な考え方を伺う。

答 市長就任間もないことから、必要額を基本とし、早急な対応が必要な経費、市民生活に影響がないよう対応する。

問 市民の生活優先の市政を目的に、事業仕分けと肉付け予算を6月定例会にシミュレーションとして提案をいただきながら、再度6月議会に質問をすることとし、新たなごみの処理計画について、計画を見直すとしている。

答 低炭素社会づくりの必要性が急速に高まっていること、発生の抑制及び再利用等を進め、リサイクル率50%目標とし行政と市民が一体となって行う。



高野 光二 議員

市長の政治姿勢について

問 市長公約に掲げた重点施策を任期中、どのように予算に反映させて行くのか伺う。

答 公約について早急に現行制度との関係、有効性

問 自治体病院の考え方について

答 地域周産期母子医療センター設置の考え方は

ちょっとホンネ
新市長の大産産廃の対応に驚愕!?「法令遵守」なら前市長とどこも変わらないのでは…。

その他の質問

- ① 企業誘致、産業振興をどう進めるのか
- ② 鹿島SAは重要事業。民間活力の導入を
- ③ 大産産廃の認識と取り組みについて



合併効果で早期実現した消防小高分署



議会風景

ちょっとホンネ
新市長就任の初議会。事業仕分けと市民生活優先とする行政は前途多難。より丁寧な執行を。

その他の質問

- ① 自治体病院の考え方について
- ② 地域周産期母子医療センター設置の考え方は
- ③ 野馬懸行事における環境整備について



清一 議員

市長の 選挙公約について

問 5千300万円を会社側が借地料として法務局に供託した供託金を受け取っていたとの内容が記された、「大甕産業廃棄物問題の早期解決を求める市民の会」発行の新聞折り込みがあった。この土地賃貸料5千300万円の受け取りの事実関係は間違いなのか。

答 さらに、埋蔵文化財発掘に関し、この土地に係る供託した借地料を受け取っていたという事になれば、この土地に係る権利、義務を認めたとということになると思うが、見解を伺う。

問 「大甕産業廃棄物問題の早期解決を求める市民の会」なるものは、承知していない。その



原ノ町駅前の商店街

問 3区内空き店舗は、100を越えている。市立中央図書館も2ヶ

コピーは見たが、結果として、そういうことが書いてあった。あくまで損害賠償も含め一連の裁判の流れの中と考えている。

市としては、文化財発掘に関わる借地関係うんぬんについては判断の範ちゆうにないのでお答えできない。

答 安心歩行整備や地域サロン等、小高と鹿島を含めて店を開けるよう展開を図りたい。

ちょっとホンネ

公約の質問には今後検討が殆ど。産廃では裁判で審議中と答弁多。ところ変わって七変化？

その他の質問

- ① 市民借金を100億円削減について
- ② 損害賠償支払命令に係る差し押えの件
- ③ 企業誘致政策について



今村 裕 議員

市長公約実現の可能性について

問 4年間で市債100億円減の具策について「景気対策を考慮する」、「市民生活に影響を及ぼさないようにする」、「今のところ具策はないが、今後計画を作って提示する」と、答弁に一貫性がないが見解を伺う。

答 6月補正に向けて事業仕分けをする中で、どこまで可能なのかも含めてお示しする。

問 経常収支比率を85%にすると言うが、一気に改善すれば、市民サービスの低下が危惧されるがどう考えるのか伺う。



南相馬市の行方は…

答 市民の理解をいただくよう、懇談会等を開催しながら進めていく。市債100億円減を実施する。新市建設計画も実行する。総合計画も尊重する。経常収支比率85%も両立させると言うが、実現に向けた具策について伺う。

問 市長が掲げた公約の殆どが、財源の裏付けに基づくものではなく、希望的観測的なものが多かったように感じるが見解を伺う。

答 「天は自ら助くる者を助く」という行動方針のもとに対応していく。

ちょっとホンネ

市長の選挙公約は、大風呂敷を広げた感が否めない。事業仕分けや6月補正が楽しみだ!!

その他の質問

- ① 図書館の役割と利活用に対する考え方
- ② 公立保育園の指定管理者制導入の考え方
- ③ 浪江・小高原発に対する考え方